

■西郷従道 海軍軍人。隆盛の弟。最初の勲一等・海軍大臣・海軍大将で、薩長間や陸海軍間の調停者として貴重な役割。

さいごうつぐみち

順天堂始・1843＝ 薩摩国鹿児島城下で、三男、西郷隆盛の実弟に生まれる。

阿部正弘首座1845＝ 2歳：

幼くして両親を失い、

万次郎帰国・1852＝ 9歳：

ペリー来航・1853＝10歳：

島津家の茶坊主として出仕したが、

やがて還俗して、兄隆盛のもと、国事に奔走、

安政の大獄・1859＝16歳： 大老井伊直弼襲撃計画<突出事件>に参加するなど、急進的な尊王運動に投じる。

桜田門外変・1860＝17歳：

遣欧使節・1861＝18歳：

生麦事件・1862＝19歳： <寺田屋事件>に連座して藩庁から謹慎を命じられたが、まもなく赦され、

8月18日政変 1863＝20歳： <薩英戦争>や、

薩摩藩士密航1865＝22歳： <禁門の変>に参加、

明治維新・1868＝25歳： <鳥羽・伏見の戦>にも従軍して重傷を負ったが、維新後、新政府に出仕し、

戊辰戦争終・1869＝26歳： 山県有朋とともに、兵制研究のため渡欧(プロイセン、フランス、ロシア)、

初の日刊新聞1870＝27歳：

帰国後、兵部権大丞陸軍少将、兵部少輔、陸軍少輔、同大輔に進む。

明治6年政変 1873＝30歳：

佐賀の乱・1874＝31歳： *陸軍中将兼台湾蕃地事務都督に任ぜられ、政府の中止命令をおして台湾へ出兵。

三つの反乱・1876＝33歳： 征台の功により最初の勲一等に叙せられる。

西南戦争・1877＝34歳： 兄隆盛の悲劇にも揺るがず、

大久保暗殺・1878＝35歳：参議兼文部卿、次いで陸軍卿に就任し、

琉球処分・1879＝36歳：

明治14年政変1881＝38歳：農商務卿、

秩父事件・1884＝41歳：伯爵、

内閣発足・1885＝42歳： *内閣制の成立を機に、最初の海軍大臣となった。

海軍の基礎確立のために樺山資紀、山本権兵衛、安保清康らを抜擢重用。

初の対等条約1888＝45歳：

帝国憲法発布1889＝46歳：

帝国議会始・1890＝47歳：山県内閣の内務大臣、

大本教・・・1892＝49歳：枢密顧問官を歴任、また国民協会の会長となった。

郡司千島探検1893＝50歳：伊藤博文内閣の海相に復帰して海軍の整備拡充に尽力し、

日清戦争始・1894＝51歳： *最初の海軍大将となり、

日清戦争終・1895＝52歳：侯爵、

八幡製鉄始・1897＝54歳：

子規句歌革新1898＝55歳： 元帥府に列せられた。山県内閣の内務大臣、

教科書疑獄・1902＝59歳： 没した。大勲位菊花大綬章に叙せられる。

諧謔・機知に富み、薩長間ならびに陸海軍間の軋轢の調停者として貴重な役割を果たした。